



リスクもコストも削減しよう

# SKYSEA Client View Windows Storage Server対応に関する ご紹介

SKYSEA



# 目次

<b>前提条件</b>	P.3
<b>Windows Storage Server対応で出来ること</b>	P.4
<b>特徴</b>	P.5
<b>ログ収集について</b>	P.6
<b>構成</b>	P.7
<b>サーバ運用への移行</b>	P.8
<b>ご利用時の制限事項</b>	P.9
<b>対応製品について</b>	P.10,11
<b>SKYSEA Client View NAS使用時機能一覧</b>	P.12,13
<b>NASへのSKYSEA Client Viewのインストールについて</b>	P.14
<b>その他、NAS使用時の留意事項</b>	P.15,16

# 前提条件

Microsoft社においては、Windows Storage Server上にソフトウェア(一部を除き)をインストールすることはライセンス許諾されておりませんでした。

しかし、株式会社アイ・オー・データ機器様、ロジテック株式会社様よりマイクロソフト株式会社様への確認の結果、以下の条件付き(五十音別)で、SKYSEA Client Viewをインストールすることが可能であると確認されました。

**NAS使用許諾条件**

## SKYSEA Client Viewインストールの条件

クライアントPC等の情報を蓄積して活用するのみに限定して、  
SKYSEA Client Viewサーバー機能を  
Windows Storage Server搭載NAS製品上で動作させることが可能です。

# Windows Storage Server対応で出来ること



SKYSEA Client Viewをインストール

**NAS**

(SKYSEA Client View Server)  
SKYSEA Client ViewがインストールされたNAS

すぐに設置し、  
ログ収集・資産管理が可能！！

Windows Storage Server搭載NAS  
製品上で動作させることが可能



ログ収集・資産管理などが可能に

# 特徴

こんな方に**オススメ**です

**Windows Serverは持ちたくない！**

管理や運用に手間がかかるし、費用も高い。



**個人情報を扱う部署だけ小規模にログ管理を  
やりたい！**

管理するのは15台だけなので、あまり手間をかけずに構築・運用したい。



**Windows Server CALを導入したくない！**

サーバにアクセスするPC台数分のサーバCALは高額になるし、管理も大変・・・



# ログ収集について

50台のクライアントPCのログを約**5年間**収集可能です



Windows Storage Server NASは、SKYSEA Client Viewのマスターサーバ、データサーバとして利用できます。  
最大50台までのクライアントPCの管理にご利用いただけます。

5年間のログデータ容量: 1日1MB/PC × 50台 × 365日 × 5年間 = 約92GB

## NAS装置がトラブル発生した際に、クライアントの動作に支障がある？

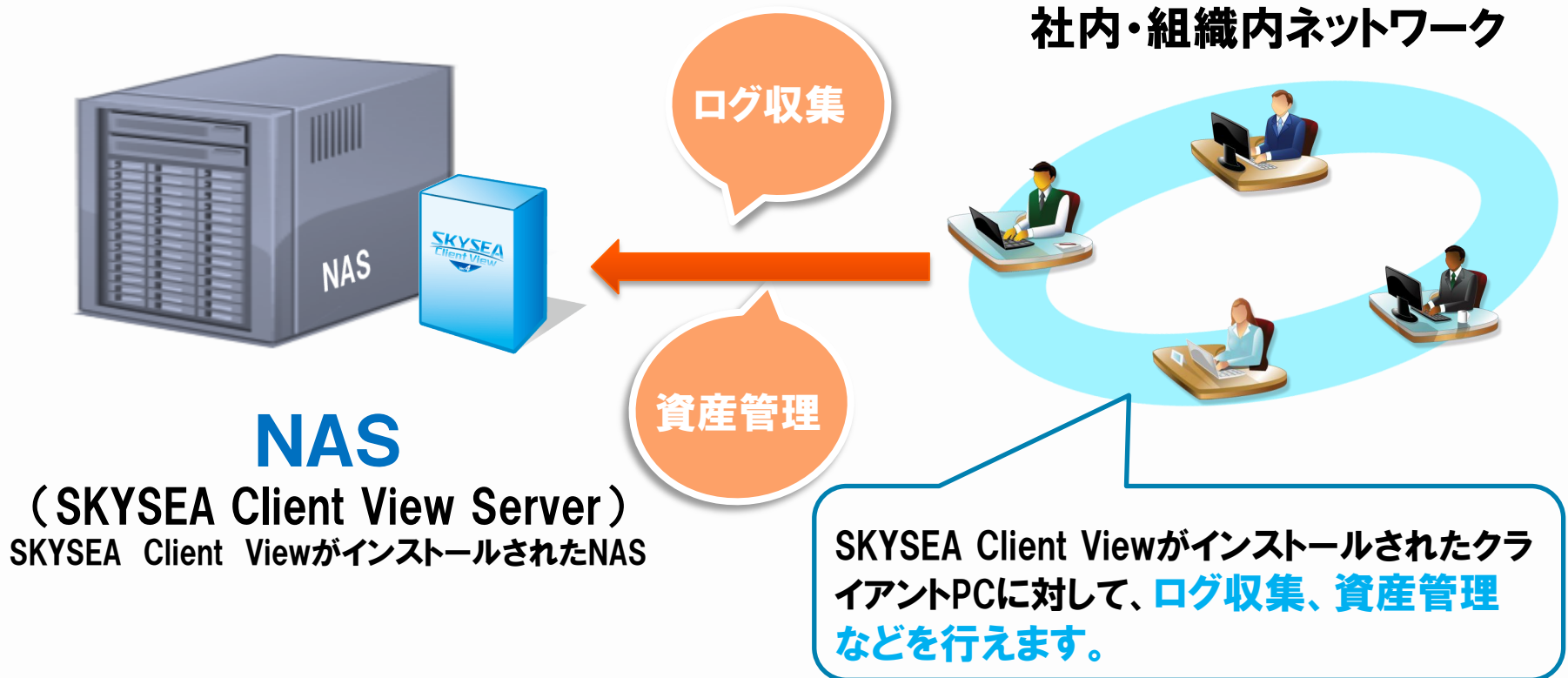
→ 障害発生時にも、SKYSEA Client Viewのクライアント側の機能により、ログ収集とクライアントの動作に異常は発生せず、継続可能で、業務は停止致しません。

## 管理できる台数は？

→ NASのCPUやメモリの点から、弊社では最大クライアント台数は50台とさせて頂いております。  
(NASをSKYSEA Client View専用機ではなくNASとしても利用する場合にはNASの推奨台数を上限とします)

# 構成

## 利用イメージ



# サーバ運用への移行

本格的なサーバ運用への移行時も**無駄がありません**

## 1、最初はNASで運用

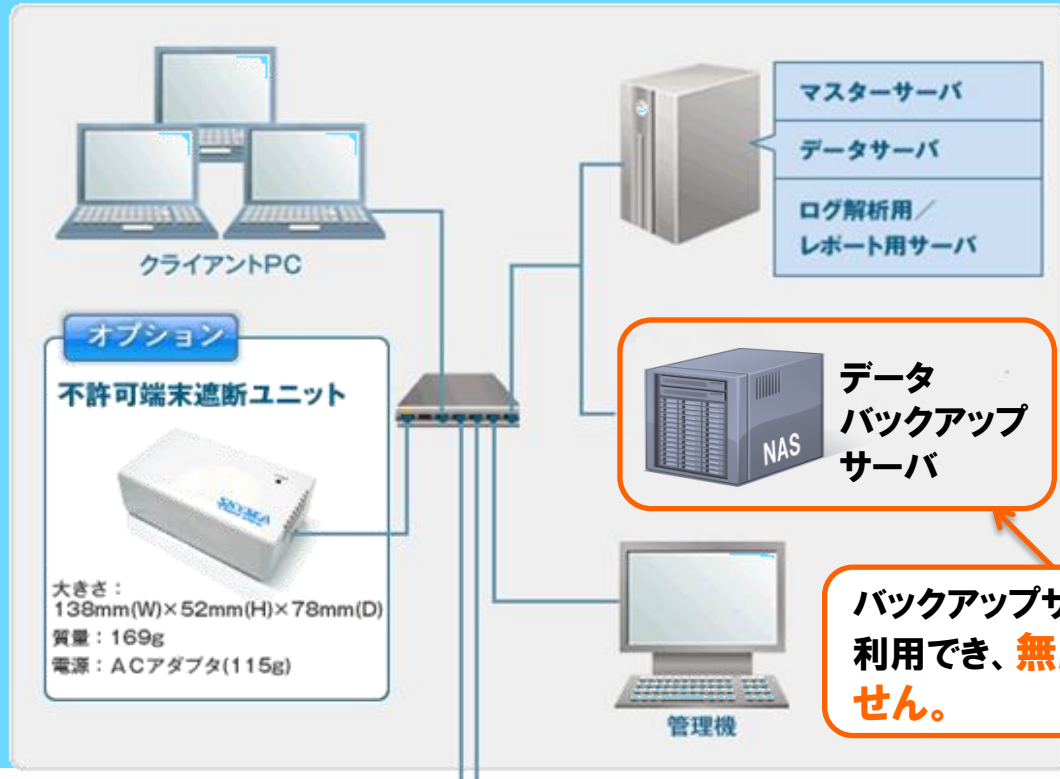


部門導入から  
全社展開にも対応



## 2、あとから台数が増えても本格的なサーバ運用に移行できます

本格的なサーバ運用への移行時もNASはデータバックアップサーバとして運用可能です。





# ご利用時の制限事項

## ● 最大50台までとします( NASの搭載CPUからの制限事項 )

(NASをSKYSEA Client View専用機ではなくNASとしても利用する場合には、50台以下でNASの推奨台数を上限とします)

## ● Microsoft社のライセンス許諾上、ご利用頂けない機能

- ・省電力支援機能
- ・ソフトウェア配布機能
- ・Windows更新プログラム配布実行

- ・印刷物取り忘れ機能
- ・高速ログ検索(オプション)
- ・不許可端末検知(オプション)

など.....

(詳細は本資料機能一覧をご覧ください)

## ● 対応製品( Microsoft社より許諾を受けられたNASメーカー様 )

株式会社アイ・オー・データ機器様  
HDLM2-GWINシリーズ / HDLM-GWINシリーズ

ロジテック株式会社様  
LSV-5S4Cシリーズ / LSV-5S4CP5シリーズ / LSV-5S4Rシリーズ

(五十音別)

# 対応製品について

株式会社アイ・オー・データ機器様

HDLM2-GWINシリーズ / HDLM-GWINシリーズの特徴



すべてのオフィスに安心と効率を

**I-O DATA**



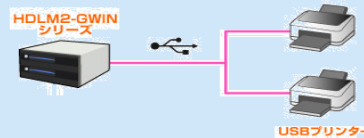
型番	HDLM2-GWIN
OS	Windows Storage Server 2003 R2
CPU	VIA Eden 1.2GHz
メモリ	1GB
推奨同時接続数	20台

## ホットスワップ対応

故障したディスクドライブは、電源をいれたままで簡単に取り外して交換できます。ディスククラッシュ時にも本製品を停止することなく障害ディスクを交換できます。

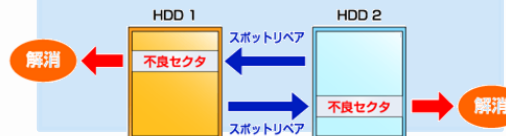
## プリントサーバー機能

背面の2つのUSBポートに、USBハードディスク、USBプリンター、UPSなどを接続できます。



## アクティブリペア機能

エラーセクタを発見した場合に、正常なディスクのデータを利用してエラーセクタ部分に局所的な修復を自動的に行います。



## ハードウェアRAID搭載

### Hardware RAID の仕組み



#### 長所

- OSと切り離してRAID管理が可能。
- リビルドなど負荷の掛かる処理もHardware RAIDモジュールが単体で実行するため、OSやApplicationに負荷が掛からない。
- OSを問わない。

#### 短所

- 専用のハードウェアが必要。

Hardware RAIDモジュールがHDDを結合してHALに引渡し、Device Driver / OSからは1台のHDDとして見える。

### Software RAID の仕組み



#### 長所

- OSの機能として提供されるため安価に実現可能。

#### 短所

- OSがサポートする必要がある。
- OSの処理と同様にプロセッサ (CPU) がRAID周りの処理を行うため、どちらかに負荷が掛かるとレスポンス低下を招く。
- エラーログが取得できない場合がある。

HAL、Device Driverまでは個別のHDDとして管理、RAIDモジュールで結合してOSに引渡し。

＜ソフトウェアRAIDとハードウェアRAIDの比較表＞

項目	Software RAID	Hardware RAID
初期コスト	低	高
CPUへの負荷	高	低
OS依存	高	低
障害解析	難	易

# 対応製品について



ロジテック株式会社様

## LSV-5S4Cシリーズ／LSV-5S4CP5シリーズ／LSV-5S4Rシリーズの特徴

Logitec



型番	LSV-5S4C(左) LSV-5S4R(右)
OS	Windows Storage Server 2003 R2
CPU	VIA C7 1.0GHz
メモリ	1GB
推奨同時接続数	20台

業界初

Windows Storage Server搭載NASで

暗号化機能を搭載※1

VIA社製マザーボード搭載の暗号化エンジンによる、AES256bitによるディスク暗号化を採用※2し、保存するだけで自動的に暗号化することができます。万が一内蔵HDDを盗まれてもデータを読むことはできません。



RAID5  
搭載

4台のHDDによるRAID5で冗長性を確保できます。RAID0/1への変更も可能です。



NASの状況を  
メールでお知らせ

不測の事態をメールでお知らせします。定期メール配信で楽に死活管理ができます。メールヘッダ、タイトルなどを編集できるので、どの場所のNASに問題が発生したのかすぐに特定できます。



エコ＆経済的な節電を実現

夜間など、NASへのアクセスが無い時間は休止モードで節電します。パワーボタンの挙動設定など、毎日/各曜日ごとに起動時間と休止時間を設定できるので、例えば1日12時間稼働にすることで約50kg/年のCO2削減ができます。



※1 2010年3月末提供開始

SKYSEA Client View利用時には、暗号化機能は利用しないで下さい。

# SKYSEA Client View NAS使用時機能一覧

Standard Edition / Light Edition搭載機能

LT ST

コスト削減	経費節減レポート	サーバシミュレーション	-	-			
		コンピュータ利用状況レポート	-	-			
		ファイルサーバ利用状況レポート	-	-			
		プリンタ利用状況レポート	-	-			
			-	-			
資産情報収集	収集可能な資産項目	資産情報の自動収集	ハードウェア情報	○	○		
			ソフトウェア情報	○	○		
	端末稼働状況	任意項目 (50個)			○	○	
		端末稼働状況一覧表示			○	○	
		レジストリ情報一覧表示			○	○	
		CSV入力エクスポート			○	○	
		CSV出力エクスポート			○	○	
		資産情報検索機能 (AND,OR,NOT検索)			○	○	
		資産情報検索グループの作成 (抽出した端末機をグループ化)			○	○	
		指定項目が重複する端末機表示			○	○	
	資産変更状況	変更内容一覧表示			○	○	
		アプリケーションインストール状況			○	○	
	アプリケーション状況	アプリケーション情報のパッケージ表示 (グルーピング)			○	○	
		OSライセンス状況			○	○	
		Officeインストール状況	Microsoft Office管理			○	○
			Microsoft Office Personal管理			○	○
			ウイルス対策ソフトウェア更新状況			○	○
		Windows更新プログラム適用状況			○	○	
	実行ファイルインストール状況			○	○		
	収集方法	スタンドアロンPC資産情報収集			○	○	
資産情報インポート				○	○		
資産情報運用	省電力支援	利用者へのアンケート			○	○	
		省電力設定状況表示			-	-	
		省電力設定を強制配布			-	-	
	電源切り忘れプリンタ検索			-	-		
	ソフトウェア配布・インストール	ソフトウェア配布一括インストール			-	-	
		ソフトウェアのインストールスケジュール設定			-	-	
		配布したソフトウェアのインストール状況確認			-	-	
	Windows更新プログラム配布実行	配布実行			-	-	
		配布状況の確認			-	-	
	その他	部署インポート機能			-	-	
資産情報の自動定期バックアップ				-	-		
USBメモリ管理	登録・管理	USBメモリの登録・管理			○	○	
		USBメモリの棚卸し			○	○	
	利用制限	端末機ごとによるUSBデバイス利用制限			○	○	
		ユーザ別USBデバイス利用制限			-	-	
		USBデバイス管理者承認			-	-	
USBメモリによるPC使用制限			-	-			

LT ST

ログ管理	ログ収集	収集可能なログ	起動・終了ログ	○	○
			クライアントPC操作ログ	○	○
			アプリケーションログ	○	○
			ファイルアクセスログ	○	○
			ファイル操作ログ	○	○
			クリップボードログ	○	○
			システムログ	○	○
			プリントログ	○	○
			Webアクセスログ	○	○
			Web書き込みログ (掲示板・Webメールへの書き込み)	○	○
			Webファイルアップロードログ	○	○
			FTPアップロードログ	○	○
			ドライブ追加・削除ログ	○	○
			フォルダ共有ログ	○	○
			不許可端末ログ	-	-
	ログ閲覧 (ビューア)	ログ検索 (複数条件検索)		○	○
		ログ検索条件保存		○	○
		ファイル追跡		○	○
		操作ログ追跡		○	○
		ログのCSV出力		○	○
ログデータ保存	ログデータのバックアップ		○	○	
	バックアップデータ閲覧		○	○	
	ログデータの自動定期バックアップ		○	○	
	削除された端末機のログを閲覧		○	○	
画面操作録画	録画方法	スケジュール録画 : 設定した日時に録画	※(※1)	※(※1)	
		検知録画 : 設定した操作をトリガーに録画を開始	※(※1)	※(※1)	
		ワンタッチ録画 : メイン画面のデスクトップビューから録画を開始	※(※1)	※(※1)	
	検知対象	ウィンドウタイトル、アプリケーション実行、アプリケーションの名前変更、業務外アプリケーション実行、レジストリ変更、インストール、システム構成変更、CSVファイル出力、規定時間外端末機操作、記憶媒体使用、記憶媒体書き込み、特定フォルダアクセス、ドライブ追加、共有フォルダ書き込み、ローカル共有フォルダ作成、カスタマイズ、Web閲覧、Webダウンロード、禁止ファイル持ち込み、実行ファイル不正操作、印刷ドキュメント名、FTPダウンロード、Webアップロード、FTPアップロード、掲示板/Webメール書き込み、フリーメール/ネットワークストレージ利用、電子メール送信、記憶媒体使用 (印刷し期限超過)、業務外アプリケーションの実行		※(※1)	※(※1)
		再生・保存	順再生/逆再生	※(※1)	※(※1)
			等速、2倍速、4倍速	※(※1)	※(※1)
			録画画像の切り出し/静止画保存	※(※1)	※(※1)
	検索	録画データとログデータの個別保存、保存期間を別々に設定	※(※1)	※(※1)	
	送信メールログ	送信メールログ	テキストログとの連動	※(※1)	※(※1)
			送信メール保存	※(※1)	○
注意表示		添付ファイル保存	※(※1)	○	
		管理機の画面にメッセージを表示 (ポップアップ通知)	※(※1)	○	
		管理者へのメール通知	※(※1)	○	
一覧表示	許可ドメイン以外への送信を検知	※(※1)	○		
設定	メール件名/送信者アドレス/受信者アドレス/添付ファイル有無	※(※1)	○		
高速ログ検索	メールサイズにより添付ファイルの保存、破棄を選択	※(※1)	○		
高速ログ検索	ログのIndex化で検索を高速化	-	-		

【凡例】 ○利用可能 ※オプション (別途オプション製品の購入が必要となります) -利用不可

# SKYSEA Client View NAS使用時機能一覧

Standard Edition / Light Edition搭載機能



注意表示 (アラート)	注意表示通知	通知方法	端末機の画面にメッセージを表示 (ポップアップ通知)	○	○
			管理機の画面にメッセージを表示 (ポップアップ通知)	○	○
	注意表示設定	設定	注意表示ログ出力	○	○
			メールによる通知	○	○
			一定時間内のアラート/メールの集約	○	○
			キーワードごとにアラート通知のON/OFFを設定	○	○
			端末機ごとの個別設定、グループごとの設定	○	○
			設定内容の一覧表示	○	○
	注意表示・端末機制限設定項目	資産情報の変更	IPアドレス変更	○	○
			コンピュータ名変更	○	○
			NIC、SCSI、モデム、BIOSバージョンの変更	○	○
			システムモデル、製造元、システムシリアルの変更	○	○
			CPU、メモリ、MACアドレスの変更	○	○
			HDD容量不足 (MB) (%)	○	○
			リース/レンタル切れ日数	○	○
			許可/不許可アプリケーション	○	○
			インストール診断 (インストール必須アプリケーション)	○	○
			端末機 未起動期間	○	○
		ファイル操作	システム構成変更	○	○
			CSVファイル出力	○	○
規定時間外端末機操作			○	○	
記憶媒体使用 (除外キーワード設定可)			○	○	
アプリケーション状況	記憶媒体書き込み (除外キーワード設定可)	○	○		
	記憶媒体使用 (棚卸し期間超過)	○	○		
	特定フォルダアクセス	○	○		
	ドライブ追加	○	○		
	共有フォルダ書き込み	○	○		
	ローカル共有フォルダ作成	○	○		
	ローカル共有フォルダアクセス	○	○		
	カスタマイズ	○	○		
	禁止アプリケーション持ち込み	○	○		
	実行ファイルの不正操作	○	○		
その他	USBデバイスによる不正ファイル持ち込み	○	○		
	ウインドウタイトル	○	○		
	アプリケーション実行	○	○		
	禁止アプリケーションの名前変更	○	○		
	業務外アプリケーション実行	○	○		
	レジストリ変更	○	○		
	インストール	○	○		
	システム構成変更	○	○		
	Web閲覧	○	○		
	Webアップロード/ダウンロード	○	○		
FTPアップロード/ダウンロード	○	○			
不許可端末検知/遮断	不許可端末ログ	IPアドレス/MACアドレス/ノードNo.	-	-	
		許可設定状況	-	-	
	アラート	不許可端末を一覧表示	-	-	
		管理機の画面にメッセージを表示 (ポップアップ通知)	-	-	
		管理者へのメール通知	-	-	
		遮断	検知した不許可端末をネットワークから遮断	-	-
遮断ユニット	不許可端末遮断ユニット	-	-		

レポート	ログ解析レポート	webブラウザによるログ解析レポート	△※1	△※1
		・端末機稼働状況	△※1	△※1
		・アプリケーション解析 (端末別/日別アプリケーション使用比較グラフ)	△※1	△※1
		・Webアクセス解析 (時間帯別Webアクセス推移、端末別Webアクセス比較)	△※1	△※1
		・ファイルサーバアクセス解析	△※1	△※1
	ワンタッチレポート	・プリント出力解析 (ドキュメント別/端末別プリント出力比較、プリンタ別比較)	△※1	△※1
		・セキュリティ (端末別アラート比較、日別アラート件数推移)	△※1	△※1
		端末未利用状況レポート	-	-
		ライセンス利用状況レポート	-	-
		不許可アプリケーションインストール状況レポート	-	-
安心安全レポート	必須アプリケーション未インストール状況レポート	-	-	
	Web利用状況	-	-	
リモート操作	リモート操作	傾向分析レポート	-	-
		注意表示レポート	-	-
		端末機をリモート操作	※	○
		管理機画面を端末機で表示	※	○
		端末機画面を管理機で表示	※	○
	表示方法	リモート操作中のファイル転送	※	○
		全画面表示	※	○
		縮小表示	※	○
		スポット表示 (ズーム 0-100%)	※	○
		端末機側のデスクトップへ描画	※	○
キーボード/マウス転送	設定操作	画面確認・リモート操作開始時、端末機側から確認	※	○
		リモート操作時の通信帯域制限・通信データ量の抑制	※	○
		複数端末機のウインドウ画面をセンタリング/左上にそろえる	※	○
		複数端末機のウインドウ画面を代表画面にそろえる	※	○
		操作中の端末機ロック	※	○
	端末機制御	一斉操作/単体操作の切り替え	※	○
		資料配布 (任意ファイルの配布/回収)	-	-
		電源管理 (ログオン/ログオフ、電源ON/OFF)	-	-
		マクロ/実行	-	-
		複数端末機画面を管理機で巡回表示	○	○
その他	通信帯域制限	複数端末機画面を管理機で巡回表示	○	○
		通信帯域制限	○	○
		管理サーバ切り替え	-	-
		サーバ間の端末機移動	-	-
		SKYSEA Client Viewのリモートアップデート	○	○
	インストール	起動時のパスワード認証機能	○	○
		管理者ごとの使用機能の利用設定	-	-
		データサーバの多段構成	-	-
		部署別インストーラ作成	△※2	△※2
		部署別インストーラ作成	△※2	△※2
操作画面	端末機閲覧画面	端末デスクトップビュー	○	○
		端末リストビュー	○	○
		ユーザデスクトップビュー	○	○
	機能ガイド	ユーザリストビュー	○	○
		要注意端末ビュー (要注意端末のデスクトップ画像のみ表示)	○	○
		端末機閲覧画面検索機能	○	○

※1 利用状況 (ログの容量) によっては、負荷が掛かる可能性があるため、利用の推奨は致しません。

※2 50台までの環境でご利用頂くことを前提にしていますので、部署別にインストーラを作成するのではなく、インストール後に部署を移動するか、アンケートによる部署設定の方が簡単であるため、推奨は致しません。

# NASへのSKYSEA Client Viewのインストールについて



## 注意事項

SKYSEA Client Viewを対応NAS製品にインストールする場合は、以下の事項にご留意下さい。

1.

SKYSEA Client Viewをご用意下さい。

(NAS専用版等はありませんので、通常版をそのままご利用下さい)

2.

SKYSEA Client ViewのインストールCDの内容をNASにフォルダ共有で使ってコピーして下さい。

3.

NASにリモートデスクトップ接続か、キーボード・マウス・ディスプレイを接続して、SKYSEA Client Viewのインストールマニュアルを参照の上、インストールを行って下さい。

### ※その他

- 1)英語OSとして認識されている為、OSが英語表記となっています。  
通常「規定のWebサイト」⇒NAS「Default Web Site」など
- 2)ログ解析インストール時、英語版モジュールのインストールが必要  
通常「WindowsServer2003-KB926140-v5-x86-JPN.exe」  
⇒NAS「WindowsServer2003-KB926139-v2-x86-ENU.exe」



# その他、NAS使用時の留意事項

- 本資料に記載の『SKYSEA Client View NAS使用時機能一覧』で「機能あり」と記載されている機能以外は、**ライセンス規約上、ご利用頂くことは出来ません。**
- 弊社サポート窓口にお問い合わせ頂いた場合に、動作対象外環境での利用や、ライセンス条項に反する使い方であることが判明した場合には、弊社はサポートサービスを終了させて頂くことがあります。
- SKYSEA Client ViewをNASにインストールする際には、**NAS使用許諾条件の記載された追加ライセンス条項を同意の上、利用を開始して下さい。**SKYSEA Client ViewをNASにインストールされる際には、別途、用意されているNAS使用許諾条件の記載された書面をSKYSEA Client Viewの使用許諾契約書と共に保管するようにして下さい。
- SKYSEA Client ViewをインストールするNASについては、**NASは出荷時初期状態**から、IPアドレス等のネットワーク機器の設定など、NASを動作させる上で必要な設定をすべて行った上で、正常にNASが動作することを確認してから、SKYSEA Client Viewをインストールして下さい。運用中のNASへのSKYSEA Client Viewのインストールは動作保証しておりません。

# その他、NAS使用時の留意事項

- 一般的なサーバコンピュータをインストールする場合と比較して、NASの場合、CPU能力の違いから、ログ閲覧等管理機ソフトウェアの動作が、遅くなります。管理機の処理速度が重要な場合には、事前の動作検証等を行うようにして下さい。  
(クライアントPCの処理速度等は変わりません)
- SKYSEA Client Viewマスターサーバー／データサーバー専用NASをご利用頂くことを弊社では強く推奨します。NASのファイルサーバーとしても共用する場合には、ディスクの空き容量や処理能力にご注意下さい。なお、NASをファイルサーバーとしても共有する場合には、SKYSEA Client Viewでの最大接続台数は、NASメーカー様の推奨される接続台数に制限されますので、ご注意ください。
- 標準機能のログ解析、オプションの送信メールログ、画面操作録画については、ログ容量が多い場合には、負荷が高くなり、ソフトウェアの動作に時間が掛かる場合があります。ただし、ログの容量については、お客様のクライアントの利用状況により大きく変動致します。そのため、弊社としては、これらの機能については利用を推奨致しません。
- 弊社サポートをお問い合わせ頂く際には、必ず、NASをSKYSEA Client Viewのマスターサーバー／データサーバーとして利用していることをお伝え下さい。



商品に関するお問い合わせや最新情報は…

Webサイト

<http://www.skyseaclientview.net/>

e-mail

[info@skyseaclientview.net](mailto:info@skyseaclientview.net)

インフォメーション  
ダイヤル

**06-4807-6382**

受付時間 9:30~17:30(土・日・祝、ならびに当社の定める休業日を除く平日)

**Sky株式会社** — <http://www.skygroup.jp/>

- 本 社 〒532-0003  
大阪市淀川区宮原3丁目4番30号 ニッセイ新大阪ビル20F  
TEL.06-4807-6374 FAX.06-4807-6376
- 東京支社 〒108-0075  
東京都港区港南2丁目18番1号 JR品川イーストビル9F  
TEL.03-5796-2752 FAX.03-5796-2977
- 札幌支社 仙台支社 横浜支社 三島支社 名古屋支社 高松支社  
福岡支社 沖縄支社

●SKYSEA、SKYSEA Client ViewはSky株式会社の登録商標です。●その他記載されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。●本文中に記載されている事項の一部または全部を複写、改変、転載することは、いかなる理由、形態を問わず禁じます。●本文中に記載されている事項は予告なく変更することがあります。